万燈通信

『あいさつ、清掃、ボランティア』

太田市立休泊中学校
学校通信　第10号
令和３年10月25日

「最後まであきらめない、それが休泊魂」休泊中体育祭

今年度の体育祭は、緊急事態宣言と悪天候により２度延期され、なおかつ半日開催と形を変えて行うこととなりました。それでも生徒たちは、楽しみにしていたようです。１５日は天候に恵まれ、生徒のがんばりや笑顔が映える絶好の日となりました。

体育祭のスローガンは、**『力戦奮闘　～最高の仲間とともに　心を燃やせ～』**。私からも**「躍動・笑顔・団結　全力こそがかっこいい！」**という言葉でエールを送りました。そんな中飛び出したのが、冒頭の言葉。１００ｍ走の時に放送担当の３年生男子が発した名実況です。この言葉通り、生徒たちはそれぞれの出場種目に一生懸命挑み、自分のため、クラスのために全力を尽くしました。

体育祭第１弾は、８日に学年ごとに行われた学年種目でした。全学年全員リレーを行い、加えて１年生は台風の目ソーシャルディスタンスバージョン、２年生はハイパー玉入れを行いました。体育祭を半日開催にするに当たり種目の再構成をする中で、一旦は削られた種目です。しかし、学年ごとの開催を決め、復活しました。この日の盛り上がりと得点を持って、本番に臨んだわけです。

本番では、それぞれの競技に全力で挑み、楽しんでいました。身体全体に力を込めてまさに全力を尽くす競技もあれば、細かいバランスやテクニックを求められる競技もあり、意外な一面を見せてくれた生徒もいたようです。印象的なのは、係の生徒がとてもきびきびと自分の役割を果たしていたことです。係ごとの打合せで指示されたことをしっかり行い、体育祭をメリハリのあるよい大会にしてくれました。学校全体でよい体育祭にしようという思いを体現していたと感じます。

休泊中の体育祭を象徴し、最も盛り上げてくれたのが、３年生の応援合戦でした。夏休みから練習を重ね、試行錯誤を繰り返しながら「自分たちのクラスらしさ」を創り出してきました。振り付けを覚え、フォーメーションを覚え、全体でまとまった演技にしていくのは容易ではなかったと思います。本番では１・２年生と３年生保護者の前で見事に演じきり、感動と喝采に包まれていました。これまでの伝統をしっかり引き継いでくれた瞬間だったのではないかと思います。

さて、生徒たちは体育祭で何を得たのでしょうか？何を受け取ったのでしょうか？

全力で立ち向かうことの楽しさや苦しさ、すがすがしさのような感覚。身体を動かすことの楽しさ。仲間のがんばりを応援する楽しさや一体感。悔しさを受け止める強さ。応援合戦で見せた３年生の団結力やここにかける熱い思い。例年に比べてやや寂しい体育祭ではありましたが、得たもの、受け取ったものは多くあるはずです。それらを今後に活かしていくことを願います。

さあ、明日は合唱コンクールです。

フォトギャラリー